



写真に基づく島根県初記録のウシマンボウ

澤井悦郎^{1,2}

Author & Article Info

¹ マンボウなんでも博物館（上牧町）

² 海とくらしの史料館（境港市）

sawaetsu2000@yahoo.co.jp (corresponding author)

Received 01 December 2022

Revised 01 December 2022

Accepted 01 December 2022

Published 02 December 2022

DOI 10.34583/ichthy.27.0_1

Etsuro Sawai. 2022. First record of *Mola alexandrini* (Molidae) based on photographs from Shimane Prefecture, Japan. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 27: 1–3.

Abstract

An individual of *Mola alexandrini* (> 2 m estimated total length) (Molidae) was captured by set net off Shimane-cho (35°33'30.8"N, 133°01'17.3"E), Matsue-shi, Shimane Prefecture, Japan, on 22 November 2022. This individual represents the first record of *M. alexandrini* from Shimane Prefecture. The sea surface temperature on 22 November 2022, when this individual was captured, was 19–20°C, which was confirmed to be within the range of sea surface temperatures (10–25°C) when this species was previously recorded in the Sea of Japan (from Toyama to Nagasaki prefectures).

ウシマンボウ *Mola alexandrini* (Ranzani, 1839) は、世界中の温帯・熱帯海域に分布し、全長 3.3 m 以上、体重 2.7 t 以上になる大型フグ目魚類である (Sawai et al., 2017; Gomes-Pereira et al., 2022)。本種は世界最重量硬骨魚 (heaviest bony fish) としても知られ、以前は千葉県鴨川市沖で漁獲された 2,300 kg のウシマンボウが最重量記録であったが、2022 年 10 月 31 日にオンライン版のギネス世界記録が更新され、現在はアゾレス諸島（ポルトガル）沖で捕獲された 2,744 kg のウシマンボウが世界最重量硬骨魚の個体として記録されている (Guinness World Records, 2022)。本種の大型個体（全長 2 m 以上）は、頭部や下顎下が顕著に隆起すること、舵鰭縁辺部全体が明瞭に波打たないこと、胸鰭後方の体表に盛り上がったシワがないことなどで外観的に同属のマンボウ *Mola mola* (Linnaeus, 1758) やカクレマンボウ *Mola tecta* Nyegaard et al., 2017 から識別

される (Sawai et al., 2017; 澤井, 2021a)。

日本近海におけるウシマンボウの都道府県単位の記録は以下のとおりである：北海道（太平洋側）、青森県（太平洋側）、岩手県、宮城県、富山県、石川県、福井県、茨城県、千葉県、神奈川県、東京都（小笠原諸島）、静岡県、三重県、山口県（日本海側）、徳島県、高知県、大分県、長崎県（有福島）、鹿児島県（喜界島、奄美大島）、沖縄県（伊江島、与那国島）（例えば、石川県水産総合センター, 2012; 澤井ほか, 2017; Sawai et al., 2018; 澤井, 2021a–c; 澤井・石黒, 2022）。日本海側における本種の出現は富山県から長崎県の範囲（東シナ海との境界が曖昧な地域も含む）で散発的に記録されており、学術的にはまだ 5 個体しか報告されていないため、さらなる情報が求められている（石川県水産総合センター, 2012; 澤井ほか, 2017; Sawai et al., 2018; Sawai and Nakamura, 2020; 澤井, 2021c）。

このたび、2022 年 11 月に島根県初記録と考えられるウシマンボウが漁獲されたため、ここに報告する。

材料と方法

本研究で調査したウシマンボウ 1 個体 (Fig. 1) は 2022 年 11 月 22 日に島根県松江市島根町沖に設置された定置網 (35°33'30.8"N, 133°01'17.3"E) で漁獲され、一旦船に揚げられた後、海へと返された。本個体の計測は行われていない。漁獲現場で撮影された本個体の画像（動画から切り出された写真）や情報は謝辞に記した漁業者から得られた。本個体の種同定は Sawai et al. (2017) と澤井 (2021a) にしたがった。本個体が漁獲された当日の海面水温は、気象庁 (2022) からデータを読み取った。また、本研究では未発表であった山口県 (Sawai et al., 2018) および長崎県 (Sawai and Nakamura, 2020) のウシマンボウの漁獲日前後の海面水温データも使用した。

結果と考察

本個体の体サイズは計測されていないが、先行研究（例えば、石川県水産総合センター, 2012; 澤井ほか, 2017; Sawai et al., 2017, 2018; Sawai and Nakamura, 2020）の個体



Fig. 1. An individual of *Mola alexandrini* (>2 m estimated total length) captured by set net off Shimane-cho, Matsue-shi, Shimane Prefecture, Japan, on 22 November 2022. A–C: posterior part of body (clavus); D–F: anterior part of body. Arrows and white enclosure indicate diagnostic characters for the species (head bump, chin bump, and rounded clavus margin, and no raised skin wrinkles on body respectively) provided by Sawai et al. (2017) and Sawai (2021a). Photographed by S. Ozasa.

写真と比較すると、臀鰭基部の幅や形状 (Fig. 1B)、胸鰭下の体側隆起の発達具合 (Fig. 1E) から全長 2 m は確実に超えているものと推定された。本個体は船上かつ逆光で携帯電話によって撮影されたため画質はよくないが、舵鰭縁辺部全体が明瞭に波打たないこと (Fig. 1A–C)、下顎下の隆起があるように見えること (Fig. 1D)、胸鰭後方の体表に盛り上がったシワがないこと (Fig. 1E)、および頭部の隆起があること (Fig. 1F) からウシマンボウと同定される。

筆者が知る日本海におけるウシマンボウの出現記録は上述したとおりであり、河野ほか (2014) がレビューした日本海産魚類目録以降も島根県におけるウシマンボウの記録は見あたらないことから、本個体が島根県初記録のウシマンボウとなる。

本個体が漁獲された日の漁獲地周辺の海面水温は 19–20°C であった (気象庁, 2022)。先行研究で記録された日本海における本種の出現時期や出現海面水温は以下のとおりである：富山県 (1 月, 13–14°C；澤井ほか, 2017)、石川県 (2 月, 10–11°C；石川県水産総合センター, 2012；澤井ほか, 2017)、福井県 (11 月, 19–20°C；澤井, 2021a)、山口県 (1 月, 14–15°C；Sawai et al., 2018；本研究)、長崎県 (10 月, 24–25°C；Sawai and Nakamura, 2020；本研究)。本個体の出現時期や出現海面水温は過去の記録の範囲に入った。また、漁獲場所など詳細な情報は不明だが、Youtube に韓国の浦項市にある竹島市場 (죽도시장) で少なくとも 2 個体のウシマンボウ ([URL1](#), [URL2](#)) が解体されている動画があったことから、本種はこれまで考えられ

てきた以上に日本海に広く分布している可能性がある。本種の日本海側の情報は太平洋側より少ないため、本種の分布生態を明らかにするためにも継続した調査が求められる。

謝 辞

本研究を取りまとめるにあたり、御津大敷網組合の小笹伸一朗氏および持田将貴氏には本研究に使用したウシマンボウの画像や情報を提供していただいた。また、ギネスワールドレコーズジャパン株式会社の上岡風美氏には heaviest bony fish のギネス世界記録が更新された日を調べていただいた。以上の方々に心から厚く御礼申し上げる。

引用文献

- Gomes-Pereira, J. N., C. K. Pham, J. Miodonski, M. A. R. Santos, G. Dionisio, D. Catarino, M. Nyegaard, E. Sawai, G. P. Carreira and P. Afonso. 2022. The heaviest bony fish in the world: a 2744 kg giant sunfish *Mola alexandrini* (Ranzani, 1839) from the North Atlantic. *Journal of Fish Biology*. doi: 10.1111/jfb.15244 (Oct. 2022).
- Guinness World Records. 2022. Heaviest bony fish. Guinness world records. [URL](#) (1 Dec. 2022)
- 石川県水産総合センター. 2012. ウシマンボウ? 来遊. 石川県漁海況情報, 229: 1. [URL](#)
- 河野光久・三宅博哉・星野 昇・伊藤欣吾・山中智之・甲本亮太・忠鉢孝明・安澤 弥・池田 怜・大慶則之・木下仁徳・児玉晃治・手賀太郎・山崎 淳・森 俊郎・長濱達章・大谷徹也・山田英明・村山達朗・安藤朗彦・甲斐修也・土井啓行・杉山秀樹・飯田新二・船木信一. 2014. 日本海産魚類目録. 山口県水産研究センター研究報告, 11: 1–30. [URL](#)
- 気象庁. 2022. 日別海面水温. [URL](#) (1 Dec. 2022)
- 澤井悦郎. 2021a. 写真に基づく三重県初記録のウシマンボウ, およびマンボウ属の新たな分類形質. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 8: 31–36. [URL](#)
- 澤井悦郎. 2021b. 写真に基づく徳島県からのヤリマンボウ, ウシマンボウ, およびマンボウ (マンボウ科) の記録. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 10: 1–6. [URL](#)
- 澤井悦郎. 2021c. 写真に基づく福井県初記録のウシマンボウ. *Nature of Kagoshima*, 48: 119–122. [URL](#)
- 澤井悦郎・石黒智大. 2022. 北海道3例目および青森県初記録のウシマンボウ. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 25: 27–33. [URL](#)
- Sawai, E. and I. Nakamura. 2020. New locality record of the bump-head sunfish *Mola alexandrini* (Tetraodontiformes: Molidae) from Nagasaki Prefecture, western Japan. *Biogeography*, 22: 65–67. [URL](#)
- 澤井悦郎・山野上祐介・木村知晴・稲村 修. 2017. 日本海から2例目 (富山県初記録) のウシマンボウ. *魚類学雑誌*, 64: 191–193. [URL](#)
- Sawai, E., Y. Yamanoue, M. Nyegaard and Y. Sakai. 2017. Redescription of the bump-head sunfish *Mola alexandrini* (Ranzani 1839), senior synonym of *Mola ramsayi* (Giglioli 1883), with designation of a neotype for *Mola mola* (Linnaeus 1758) (Tetraodontiformes: Molidae). *Ichthyological Research*, doi: 10.1007/s10228-017-0603-6 (Dec. 2017), 65: 142–160 (Jan. 2018).
- Sawai, E., Y. Yamanoue, T. Sonoyama, K. Ogimoto and M. Nyegaard. 2018. A new record of the bump-head sunfish *Mola alexandrini* (Tetraodontiformes: Molidae) from Yamaguchi Prefecture, western Honshu, Japan. *Biogeography*, 20: 51–54. [URL](#)